

(様式第1号)(第2条16号関係)
別紙

福祉サービス第三者の評価

1 評価機関

名称：一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地： 長野県上田市上田180-6
評価実施期間： 令和6年11月2日から令和7年3月14日*契約日から評価結果の確定日(通常、評価結果報告会日)まで	
評価調査者(評価調査者養成研修修了者番号を記載) 050431 B2020073 B2020065	

2 福祉サービス事業者情報(R7年1月現在)

事業所名： (施設名) 箕輪町立東みのわ保育園	種別：保育所
代表者氏名： 町長 白鳥 政徳 (管理者氏名) 園長 小沢 美由紀	定員(利用人数)：120(74)名
設置主体：箕輪町 経営主体：箕輪町	開設(指定)年月日： 平成26年8月18日
所在地：〒399-4602 長野県上伊那郡箕輪町大字東箕輪3229番地	
電話番号：0265-98-0807	FAX番号：0265-98-0807
電子メールアドレス：higashiho@town.minowa.lg.jp	
ホームページアドレス：https://www.town.minowa.lg.jp/kosodate/index.html	
職員数	常勤職員： 19名 非常勤職員 2名
専門職員	(専門職の名称) 名
	園長1名 主任保育士1名
	保育士13名 給食調理員4名 保育士2名
施設・設備 の概要	(居室数)
	(設備等)
	太陽光発電設備 地中熱利用型床暖房・空調設備 【戸外】 プール ジャングルジム 滑り台 鉄棒 ブランコ 登り棒 雲梯 赤土築山 砂場 ビオトープ 未満児用砂場

3 理念・基本方針

【箕輪町保育理念】 ◎子ども一人一人を大切に、保護者や地域に愛される保育園を目指します。
【箕輪町保育方針】 ・養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を支援します。 ・保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。
【保育目標】 自然の中で伸び伸びと遊ぼう ○優しい気持ちを持とう ○元気よく挨拶しよう

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

◇箕輪町の特徴◇

・長野県箕輪町は、長野県のほぼ中央に位置し、南アルプスと中央アルプスに抱かれた、自然と景観に恵まれた町です。人口は約 24,500 人で長野県内の町では最も人口が多くなっています。病院や商業施設、働く場所や家庭数も多く、東京、名古屋どちらからも 3 時間程度で来られるアクセスの良い、生活に便利な町でもあります。中央アルプスと南アルプスに囲まれ、山々が美しく色づく秋が印象的な伊那谷にあって中でも、箕輪町のもみじ湖は屈指の景勝地です。国内旅行情報サイトの「全国のおすすめ紅葉スポットランキング」で 3 年連続 1 位を獲得したことで、全国的にも広く知られる場所となりました。空気も澄んだ気持ちの良い秋のもみじ湖は、1 度訪れたら忘れられない思い出の光景が広がり、何度でも訪れたいと思える素晴らしいところです。

・「箕輪町こども・子育て応援条例」を令和 6 年 4 月 1 日より施行して「こどもは地域の宝であり、こどもの健やかな成長は、活力ある町にとって無くてはならないものである」と掲げています。こどもを中心に①町行政として行っていくこと 3 点、②学校・保育園等がおこなうこと 3 点、③地域住民や企業なども含み行うことが 4 点、④保護者・子育て家庭が行うこと 3 点などが明記され、こどもや家庭を応援するための計画が作成されました。小学生から高校生の子ども達にアンケートを取り、意見を取入れながら条例等をさくせいして、町議会に認められています。この条例には、「“こども”や家族を応援するために、計画をつくります！」と宣言されています。子ども一人ひとりを尊重し、権利が認められ、子どもや子育てに必要な支援が受けられるように町全体が取り組んでいることが伺えます。

◇東みのわ保育園の特徴◇

- ・東みのわ保育園は「長岡保育園」と「おごち保育園」の統合により現在の位置に平成 26 年 8 月 18 日に定員:120 名で開園しました。(現在園児数 74 名)
- ・保育園は、箕輪町の北東に位置し、町の広がりが見渡せる小高い場所にあり、遥かに西駒ヶ岳が雄大に望めます。豊かな自然に囲まれ、四季折々に園外活動を活発に行うことが出来ます。
- ・落ち着いた外装・内装に木材をふんだんに採用し、ぬくもりとゆとりのある室内空間の建物になっています。園舎内の木のぬくもりは、保育園で成長する様々な「個性と年齢」の子ども達の事を考え、安全で安心して過ごせる空間になっています。「あおぞら廊下」と呼ばれている天井がガラス張りで、まるで屋外にいるかのような明るい廊下、各保育室にも自然光が入る大きな窓が設置されています。廊下や多目的室、広い保育室など、子ども達や保育士が余裕を持ち、のびのび活動できるようになっています。
- ・信州やまほいく「信州型自然保育」の認定を受け、園周辺の自然に触れながら、子どもたちの健やかな育ちを支援しています。
- ・みのわっ子チャレンジ事業として、子どもたちの「みたい」「ふれたい」「しりたい」「やりたい」好奇心を育む保育の実践を全職員で目指しています。「伸び伸びとあそぶ中で感性を豊かに育む」ことを目指して

① 自然とのふれあい

- ・戸外遊び、散歩での探検や虫取りを楽しんでいます。園庭のビオトープで生き物の観察やふれあいをしています。
- ・草花を使った遊びや、保育士と一緒に花壇づくりをしています。

② 想像する力、表現する力を高める遊び

- ・自然物や廃材を使った造形あそびを進めています。
- ・リトミック遊びを取入れています。音楽鑑賞をしています。絵本に親しんでいます。

③ 保育環境の充実

- ・室内、戸外玩具が充実しています。
- ・室内環境の充実を心掛けて保育を進めています。
- ・業務支援システム「コドモン」を活用して、日々の園生活をドキュメンテーションとして知らせ、おたより、献立表、感染症情報などを配信しています。保護者からの連絡、登降園管理、写真販売などに利用しています。
- ・箕輪東小学校と交流活動の機会を持ち、子どもの育ちに連携を図っています。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	2 回（平成30年度）
---------------	-------------

6 園として

◇特に良いと思う点◇

○園長がリーダー力を発揮し職員が心をつにして、子どもの健やかな育ちのために最善の保育を行っています。

- ・地域の自然の中で保育士と一緒に思い切り身体を動かして遊ぶことで、挑戦するたくましい心を育て、丈夫な身体作りをしています。研修会に参加して《信州型自然保育「やまほいく」》を推進しています。
- ・外部講師による運動遊びやサッカー教室、リトミック教室や野球教室を行っています。職員も一緒に参加することで研修し、技術を身につけて日々の保育の中にも取り入れて子どもの成長に繋げています。ビオトープでの小動物の観察や高土手など、広い園庭で「やまほいく」を意識した保育を行い、伸び伸びと遊んでいます。
- ・以上児担当保育士会議、未満児担当保育士会議、合同会議で、子どもの実態を話し合っ、課題を出し合い、今後の保育について常に子どもに寄り添いながら、職員間で検討して取り組んでいます。子どもの希望に沿った楽しい活動を提供することで、子ども達はいつも意欲を持って参加し、成長しています。

○地域に開かれ、地域との関わりを大切にしています。

- ・挨拶活動を推奨しています。地域の方が園訪問のとき、散歩で地域の方に会ったときなど明るく挨拶を交わすことで、地域に親しみを持つことに繋がっています。
- ・地域のイベントへ園児の作品を出品して、喜ばれています。地域のお寺の花祭りへの参加や、お地蔵様の例大祭への参加などで地域の方と触れ合う機会を大切にしています。
- ・定期的に行われる園解放の日には、未就園児と交流をしています。プール活動のため地域の方々のボランティア受け入れ・学生職業体験・保育実習生の受け入れなども積極的に行って、様々な年代の方々との関わりを大切にしています。

○東箕輪小学校と連携し、交流を密にしています。

- ・小学校へは時々散歩に出かけています。一年生のプール授業の参加、小学校の運動会へ参加、一年生の音楽会の最終練習の見学、一年生の英語授業の参加などをして、小学校に親しみをもち、期待を高めることで、小学校へ入学することを楽しみにしています。
- ・職員は保小連絡会を通して、子ども達の園での様子などを丁寧に伝えていきます。就学担当教諭が保育園との連携を深め、園訪問で子どもの様子を見学して情報を共有しています。

○明るく広い園舎環境が子どものため、地球環境を考えたものとなっています。

- ・木材をふんだんに使った、ぬくもりのある園舎で机や椅子なども木製ものを使用しています。
- ・以上児クラス棟の廊下の天井はガラス張りになっており、自然光が降り注ぎ、「青空の下でキラキラと、天まで高くスクスク育つ」というコンセプト通りに大変明るくなっています。明るく広い保育室は園児数変更にも対応可能です。ゆったりした空間の絵本コーナーや広い廊下を利用した未満児遊戯室・延長保育室等があります。
- ・省エネ対策が充実しています。外断熱工法と高効率断熱材を使用して外気からの熱負荷の低減を図っています。太陽光発電設備も設置し、自然環境に配慮した園舎です。
- ・再生可能エネルギーの「地中熱利用型床暖房・空調設備を採用」のため、冬でも園舎全体が暖かく快適に過ごせます。

◇特に改善する必要があると思う点◇

- ・保護者アンケートでは、明るく対応してくれる保育士への感謝の言葉が多くありましたが、「アプリ使用になってから子どもの園の様子が分からない」「保育士の過重労働になって欲しくない

けれど、日々の子どもの様子をもっと知りたい」という意見も出されていました。アプリやお便り等を事務連絡に使う他に、園での生活の様子や子どもが楽しく遊ぶ姿を写真などで配信しています。これからも保護者の理解を得るため、多いに発信していかれることを希望します。

- ・駐車場も広々として保護者も使用しやすくなっています。玄関のセキュリティもしっかりしていますが、保護者と園児の出入りする門扉が大人なら自由に出入りできることで、不安を感じる保護者もいます。セキュリティ対策の工夫を期待します。

7 時評評価の結果（詳細）と公表

- ・ 共通項目（別添 1）
- ・ 内容項目（別添 2）

8 利用者調査の結果

アンケート方式（別添 3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）